

青い鳥だより

臨時号



新型コロナウイルス感染症等の影響により「おはなし会」や「絵本の読み聞かせ」など様々な読書活動が制限され、非常に難しく、歯がゆい思いをされたのではないのでしょうか。

今回、佐賀女子短期大学名誉教授の白根恵子さまより、「未来を生きる子どもたちのために」を特別に寄稿していただき、「青い鳥だより」を臨時刊行することにいたしました。白根さまのメッセージが子ども読書活動の推進に携わっている皆様の活動の励みとなりましたら幸いです。



「福岡スタンダード」推進キャラクター
スタンバード フレンドシープ

未来を生きる 子どもたちのために

佐賀女子短期大学名誉教授

白根 恵子



この2年間あまり、暗く長いトンネルの中を歩いているような心地で過ごしてまいりました。そして今、遠くにかすかな出口の光を見出した思いがしております。この文章をしたためているのは2021年12月下旬、新型コロナ感染がかなり収まり、対策を講じつつですが、少しずつ日常が戻りつつある…そんな時期です。

先日、県内のある図書館で「おはなし会」の様子を拝見しました。感染対策でしょうか、仕切りのカーテンが開け放たれていたため、子どもたちの様子がよく見えました。読み手も聴き手もマスクをした状態でしたが、子どもたちは絵本の読み聞かせに、静かに聴き入っていました。温かく穏やかな空気がその場所を包んでいるようで、見ている私の心までほっこりと温まりました。2年前までは、当たり前前の光景でした。でも、その「当たり前前の光景」が、実のところこんなにも壊れやすく、だからこそ、ありがたいものだというのに、この度のコロナ禍で気づかされました。

感染防止のため、学校は休校、図書館も休館、多くの集会活動も中止を余儀なくされ、かなりの期間、「朝の読書」「図書館等でのおはなし会」「ブックスタート」の開催もできませんでした。読書ボランティアにとって、一番大切に一番の喜びでもある、「子どもとともに、直に本やお話の世界を楽しむこと」ができなくなって、さぞかし心を痛めておられたことでしょう。

読書好きな子どもたちにとっても、辛い時期でした。学校の図書館も地元の公共図書館も利用できず、隣町の家庭文庫を探し当てて、ようやく本を借りた中学生の話を読者の投稿欄で読みました。また、本を読みたかったけれど手に入れる手段がなくて、仕方なくゲームをして過ごした子もいたと聞き、何とも歯痒い思いを味わいました。

『子どもの読書活動の推進に関する法律』では『すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備がされなければならない。』（第2条 基本理念）と謳っています。この法律が公布・施行されて20年たちました。国・地方自治体を始め、いろいろな場所での取り組み、ボランティアの皆様の熱心な活動のおかげで、一定の成果があったと確信しています。法第2条では『子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの』としています。読むたびに、読書の意義と効果を簡潔かつ的確に表現した文言に感銘を受けます。子どもたちが、不安にさいなまれている時にこそ、読書活動が子どもの心の支えになると信じています。1冊の本との出会いが、子どもの心を救うことだってあるのですから。しかしながら、今回のコロナ禍のように人と人との接触が制限される事態では、残念ながら十分な対応ができません。

んでした。

東京都と埼玉県での調査ですが、6割以上の先生が「精神的に不安定な子どもが増えた」と感じているという新聞記事を目にしました。一斉休校やソーシャル・ディスタンスで、友達や先生と十分に触れ合えない状況の下、子どもたちは不安でいっぱいなのでしょう。このような時期、朝の読書の時間に、読書ボランティアの温かい肉声に包まれながら本やお話の世界に浸る楽しい体験は、子どもたちの心のオアシスになるに違いありません。落ち着いた気持ちで取り組めば、学習効果も上がるのではないのでしょうか。多くの学校で、朝の読書の時間が再開されることを願っております。

世界中で温暖化による気象異常が立て続けに起こり、AIの能力が人間を上回るとされる「シンギュラリティ」の到来も喧伝されています。今回のようなパンデミックの再来もあるかも知れません。悲観的になりすぎてはいけませんが、子どもたちが生きる未来は、私たちには予測不能です。そのような未来を生き抜くためにも、読書を通して、楽しみながら知らず知らず培われる様々な力が不可欠だと思います。

どうぞ、読書ボランティアの皆様の力で、子どもたちに読書や本の楽しさを知るチャンスを作ってあげてください。『言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力(&想像力)を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける』手伝いをしてください。



最後に、美智子上皇后さまの言葉をお借りして、皆様と心をつにしたいと思います。

『どうかこれからも、これまでと同じく、本が子供の大切な友となり、助けとなることを信じ、子供達と本とを結ぶ(IBBYの)大切な仕事をお続け下さい。

子供達が、自分の中に、しっかりとした根を持つために

子供達が、喜びと想像の強い翼をもつために

子供達が、痛みを伴う愛を知るために

そして、子供達が、人生の複雑さに耐え、それぞれに与えられた人生を受け入れて生き、やがて一人一人、私共すべてのふるさとであるこの地球で、平和の道具となっていくために』

1998年、インドで開催されたIBBY(国際児童図書評議会)の世界大会に寄せられたビデオメッセージの終わりのお言葉です。(IBBYの)と括弧に入れたのは、このお言葉がIBBYに限らず「子供たちと本とを結ぶ」立場にある、すべての人たちに向けられたものだと思っているからです。

(すえもりブックスから『橋をかける 子供時代の読書の思い出』というタイトルで本が出版されています。)

2021年が終わろうとしている今、世界ではオミクロン株が広がり始めています。我が国が、何とか感染拡大を抑え込めますように。そして、この文章が皆様の目に触れる、2022年2月、皆様と子どもたちが、本やお話の世界を心置きなく楽しめていますように…。

(2021年12月24日 記)

白根 恵子さんおすすめの本

おすすめの本というより、
私に大切なことを教えてくれた本を紹介します。



はなをくんくん

(ルース・クラウス文 マーク・シーモント絵 きじまはじめ訳 福音館書店)

雪の降り積もる中、冬眠中の動物たちが突然鼻をくんくんさせながら駆けだします。のねずみ、くま、かたつむり、りす、やまねずみ、みんなが駆けつけた先には、雪の中、一輪の花が咲いていました…。春の喜びが伝わってくる絵本です。

幼いころに出会っていたこの絵本を読み返す中で、自殺を思いとどまった中学生がいました。佐藤英里さんが記された「春よ来い」という感動的な文で、『本という奇跡～「心へのこる私の一冊」より～』(NHK-BS「週刊ブックレビュー」編著 メディアパル 1996)に収録されています。「一冊の本との出会いが、一人の子どもの命を救うことがある-」ことを教えてくれました。



かいじゅうたちのいるところ



モーリス・センダックさく じんぐうてるおやく

かいじゅうたちのいるところ

(モーリス・センダック作 じんぐうてるお訳 富山房)

大暴れをした挙句、お母さんに暴言を吐いたマックスは、夕ご飯抜きで寝室に放り込まれます。ところが寝室が森や野原となり、さらには海が広がり、マックスは舟に乗って「かいじゅうたちのいるところ」へ。

長男が間もなく3歳という頃、私の不手際で情緒不安定にさせました。最初のサインは、大好きだった絵本の読み聞かせを最後まで聴き通せなくなったことでした。その他にもいろいろな困った行動がみられるようになり、児童相談所にいこうかと悩みました。そんなある日、たまたまこの絵本を読んだところ、久しぶりに最後まで聴きとおし、もう1回、もう1回とたて続けに4~5回読まされました。そして、次の日から他の本も以前のように集中して聴き通せるようになり、困った行動も徐々に収まりました。

「たかが1冊の絵本でも、一人の子どもの心とタイミングよく出会えると、その子の心を救う力がある」ことを学びました。この出会いがなかったら、ここまで「子どもの読書活動」に深く関わることはなかったのではないかと思います。私の原点といえる本です。



ふわふわくんとアルフレッド

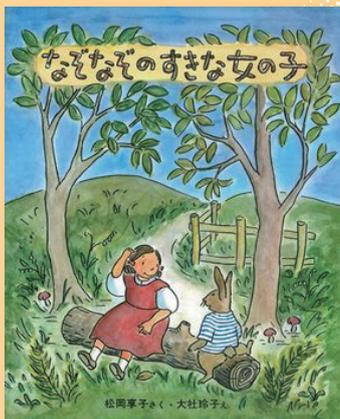
(ドロシー・マリノ文・絵 石井桃子訳 岩波書店)

ふわふわくんは縫いぐるみのくま、アルフレッドが赤ちゃんの時から親友でした。でも、ある日、とらの縫いぐるみが届くと、ふわふわくんは見捨てられ…。

本も小さめで遠目も効かないので、おはなしの時間ではなかなか読めずにいました。

ある大雨の日、参加者は4歳の子ばかり数人だったので、チャンスとばかり読んでみました。途中、子どもたちから異様な緊張感がピリピリ伝わってきて、ふと見ると、子どもたちは微動だにせず、食い入るように小さな画面を見つめていました。読んでいるのは私ですが、私の声を使って子どもたち自身が本を読んでいると感じました。

ユーラリー・S・ロスさんの「語り手は、その物語を生み出した作者の心から聞き手の子どもたち一人一人の心に、物語がじかに流れこむための道具の役割を果たせばいいのです。」(『ストーリーテリングについて』ユーラリー・S・ロス著 子ども文庫の会)という言葉がすくと腑に落ちた瞬間でした。



なぞなぞのすきな女の子

(松岡享子作 大社玲子絵 学研プラス)

司書として働いていたころ、3~4年生の特に女子の間で、『わかったさん』『こまったさん』のシリーズ(寺村輝夫作 あかね書房)が大人気でした。常連の女の子が、自分の番がなかなか回ってこないと嘆くので、この本も楽しいよと、少し内容を紹介しました。大変気に入ってくれて、それからしばらくこの本に予約が集中しました。子どもたちは、大人に紹介される本より子ども同士の口コミの本が好きという声も時々耳にしますが、子どもたちは本の情報をあまり持っていません。子どもの本が大好きな大人が口コミの火付け役になればいいんじゃない?と教えてくれました。

書名通り、なぞなぞが大好きな女の子と少し間抜けなおおかみのやり取りが面白い本です。

影との戦い ゲド戦記Ⅰ

(ル=グウィン作 清水真砂子訳 岩波書店)

後に“大賢人”“竜王”となる魔法使いゲドの少年期から青年期の成長を描いた物語です。2006年、同名のアニメが公開されました。それを知った当時27歳の次男が、「ゲド戦記って、母ちゃんが俺に読んでくれたあの本?」と尋ねてきました。聞かれて私は実のところ驚きました。私は3人の息子たちに、どうしても読んでほしい本何冊かは、小学校高学年になっても読んでやりました。けれども、ゲド戦記を読んだ記憶はなかったのです。一時期荒れていた次男にだけ、この本を読んでいたのでしょうか。傲慢さや嫉妬心から自ら招いた苦難を乗り越えるゲドの姿が、息子の心に何かを伝えてくれることを願っていたのかもしれませんが。読んだほうが忘れていても、読んでもらったほうはちゃんと覚えていてくれる。読み聞かせをしていて良かったと思いました。

後日、アニメを見た次男「本とはだいぶ違っとったよ」。アニメの内容は、ゲド戦記ⅢとⅣをアレンジしたもののようで、本のゲド戦記とはかなり異なります。





INFORMATION

団体貸出を利用しませんか

福岡市総合図書館では、福岡市内の地域団体や職域団体などを対象に本の貸出を行なっています。

- ・貸出冊数は、1団体につき上限1000冊まで
- ・周期は、原則4か月間か6か月間
- ・団体登録要件は、代表者を含め20人以上の構成で、図書資料の保管場所があることなど

〈利用の流れ〉

- ①団体貸出利用登録
- ②配本日程の通知
- ③総合図書館内の団体貸出専用の書庫から本を選ぶ
- ④総合図書館から施設まで本を配送(入れ替え)
- ⑤次回配本まで利用

〈利用状況〉

現在、公民館、集会所、保育園、幼稚園、小学校、留守家庭こども会、病院など、多くの団体が登録され、本の貸出や子どもたちへの絵本の読み聞かせなどの文庫活動を展開されています。

※登録や利用など詳細は、団体貸出担当までご連絡下さい。

電話:092-852-0623

電子図書館のご案内

個人利用者向けですが、インターネットを通じてお持ちのスマートフォン、パソコンから電子書籍を借りて読むことができます。福岡市総合図書館に利用登録があれば、図書貸出カードの番号とパスワードで利用することができます。

小説や歴史・経済・科学などの書籍、健康や料理などの実用書、絵本、児童書、子どもの学習に役立つ図書などがあります。

また、音声読み上げに対応しているものや大きな文字で読めるものもあります

- ・貸出冊数は3冊まで、貸出期間は2週間



はじめてご利用の方
パスワード申請はこちらから
※総合図書館HPの
利用パスワードと共用です。



福岡市電子図書館の
ご利用はこちらから

福岡市電子図書館 検索

学校図書館支援センター

福岡市総合図書館(団体貸出部門に併設)の1階にあります。

福岡市内の全小学校・中学校・特別支援学校を対象に、学校図書館等の運営に関する支援や調べ学習用図書の貸出などを行っています。

また、小学5・6年生を対象に、受講者を読書リーダーに認定する養成講座を実施し、令和2年度からは、動画資料等をもとに各学校で実施されています。



こども図書館

福岡市総合図書館(本館)の1階にあります。

乳幼児から中学生を対象として各分野の児童書(約10万8千冊)を収集し、また、児童研究資料(約3万冊)を収集し、貸出しています。

絵本は約3万3千冊、紙芝居は約3千6百点、世界の絵本は約7千冊あります。

館内では、本の紹介、読書に関する相談や情報の提供、おはなし会なども行っています。

また、YouTube(ユーチューブ)で、こども図書館講座の動画を配信しています。



本の紹介・イベント情報はここから